



## 住民ニーズに対応した まちづくりを進めるために

生野鉦山をはじめとして豊かな魅力資源があり、それを活かす人材に恵まれてきた生野小学校区では、これまで元気なまちづくりが進められていますが、未来を担う子供たちのためにも引き続きしっかりとしたまちづくりを進めていく必要があります。

### 先進地は

朝来市内の先進的な取り組みと評価されている東河地区協議会も、昭和30年の和田山町合併を契機として、「地域の存在が薄れてしまう!？」との危機感から足腰のしっかりした地区づくりにむけた組織づくりがスタートしたそうです。



## 協議会の立ち上げへ これからの方向性を確認

10月25日に生野メインホールで、生野小学校区における地域自治協議会の設立に向けた勉強会が開催され、制度の説明や質疑応答などが行われました。

これから地域自治協議会の設立に向けて、準備会を立ち上げていくとともに、引き続き住民への説明会などを開催していくことを確認しました。

## さらに具体的に研究を進めましょう

この勉強会には、各地区の区長から推薦を受けた方や、いろんな団体に所属されている方などを対象に参加を呼びかけ、約100名の参加のもとで開催されました。

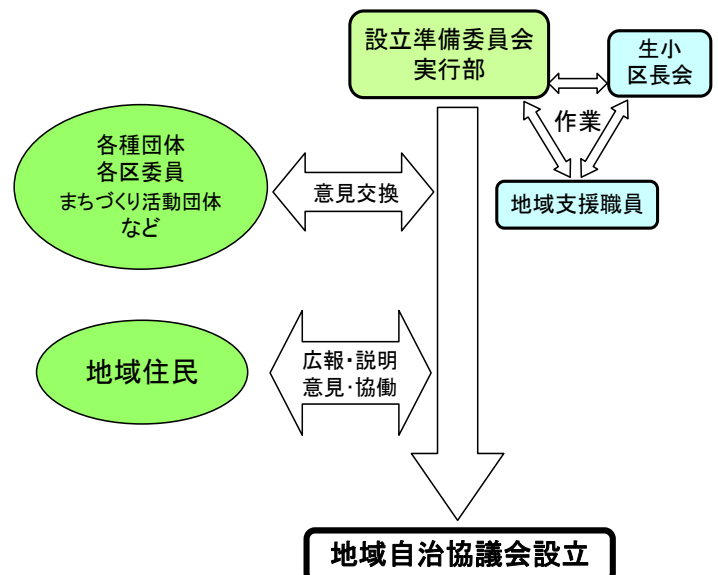
上田区長会長より「区長会では前向きに取り組むことを申し合わせていますので、ご理解とご協力をお願いします。」とのあいさつの後、制度の概要やこれからの方向性などについて説明が行われました。

### 会場の声

「防犯まちづくりの活動を進める際にも多くの枠組みの参画によって、いろんな情報が集まり、予想以上のネットワークを作ることができたので、地域自治協議会を早く設立して地域のネットワークを確立してほしい」との声が寄せられました。

## 今後の進め方

地域自治協議会を立ち上げて、魅力あるまちづくりを進めていくために、今後もこのような勉強会や意見交換会等を開催しながら皆さんの意見を集約し、生野小学校区の地域自治協議会を作っていきたいと考えています。ご協力をお願いします。



# 生野小学校区の地域自治協議会?!

これからの地域を見据えて  
より良い地域づくりのために

生野区長会長

上田 繁



最近、国や地方で行財政改革と  
いうことが盛んに言われています。

朝来市においても、いろんな形でこの改革に取り組んでいるところです。その1つには各種団体の補助金の削減、また、行政職員の減員等の改革案が進められています。

一方、地域においては、少子高齢化のため、徐々に区行政や地域行事の運営に支障をきたしてきております。このような中、朝来市各地では「わたしたちのまちはわたしたちで守り、そして創っていこう」と機運が盛り上がり地域自治協議会を発足させようという動きが盛んになってきています。生野地域においては、今年2月、区長会をはじめ各種団体の方々と自治協議会の説明を受け意見交換をしました。「なぜ今、自治協議会?」、「補助金はどうなるの?」、「今後の区の活動はどうなるのか?」等、様々な意見を聞き、区長会としましても前向きに取り組まねばならないと検討してきたところです。

今後は、設立準備会を立ち上げ、住民のみなさまの理解を得るためにも勉強会や意見交換会を開催しながら自治協議会設立にむけ、取り組んでいきたいと考えています。

みなさんは、  
「地域自治協議会」  
ご存知ですか?

「地域自治協議会」最近よく耳にする言葉ですが、実際どんな組織なのか、何をするのかよく理解できないと思われているでしょう。

それもそのはずです。「地域自治協議会」とは決まったものではないのですから。

それぞれの地域の文化や、地域の問題・課題に違いがあるように「地域自治協議会」とは地域特性に合った組織となるからです。

自分の住む地域で、より安心してより良い生活をおくるためには何が必要か、どういった取り組みをしたらいいのかを考えていただくことによって、地域の持つ課題が浮かびあがってくるとともに、地域をこうしたいという夢が生まれてきます。

そうした課題の解決や夢の実現に向けて動いていく際に、地域内で出来ること、行政がすること、を棲み分け、「自分たちのまちは自分たちで」をもとに、地域の課題はまず地域で解決していくという考えにもとづいた地域づくりのための自治組織。

それが「地域自治協議会」なのです。



この情報誌の発行などをはじめとして、住民の皆さんへのPRを進めていきます。

発行：平成19年11月7日

生野小学校区区長会